

地域福祉分科会

議案第50号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第2号）の関係分

○保育所費／管理運営費 165万1,000円

（概要） 保育士の業務負担軽減と子どもの更なる安全確保のために、午睡時の事故防止のための機器を導入する経費を計上するもの。

質疑 午睡時の事故防止のための機器の導入の効果について詳しく知りたい。

答弁 保育所では、ゼロ歳児の午睡チェックを5分おきに行っている。事故防止のための機器を導入することで、午睡時の子どもの姿勢などの確認・管理ができるため、保育士の目視とともに実施することにより、子どもの安全面が確保できるとともに、保育士の業務負担の軽減にもつながる。



○私立保育所等 ICT化推進等事業費補助 3,600万円

（概要） ICT化を行う私立保育園等に対し経費を補助しようとするもの。

質疑 補助の対象となる内容を知りたい。

答弁 補助の対象事業は2種類で、保育士の負担軽減を図るための保育に関する計画や記録、保護者との連絡、子どもの登降園管理などのICT化に関する事業と、午睡時の事故防止策として、必要な機器を導入する事故防止などに関する事業であり、いずれも導入費用の一部を補助する。

補助単価は、ICT化に関する事業が1施設当たり100万円、事故防止などに関する事業が1施設当たり50万円で、補助率はいずれも国1/2、市1/4、事業者1/4である。

○特別支援教育推進事業費 125万円

（概要） 閉園後の市立一ノ宮幼稚園の園舎を活用し、5歳児健診後から小学校1年生の児童とその保護者を対象に、児童に対しては集団活動を通してソーシャルスキルトレーニングを実施し、保護者には臨床心理士などからアドバイスを行ったり、福祉サービスの紹介をしたりするなどの事業経費を計上するもの。

質疑 児童発達支援事業を進めるに当たって、教育部局と福祉部局と保護者の3者間に加えて、社会福祉協議会などとの連携をどのように検討しているのか。

答弁 療育センター、放課後等デイサービス事業所との連携は大変重要と考えている。当事業からそれらの関係機関へ児童の支援をつなげていけるようにするとともに、事業内容について、学校の教職員や関係機関と連携して十分に周知していきたい。



旧一ノ宮幼稚園の園舎